

生誕120年

野島康三

ある写真家が見た日本近代

2009.7.28.TUE - 8.23.SUN

休館日：毎週月曜日 開館時間：午前9時30分 - 午後5時
(金曜日と8月16日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで)

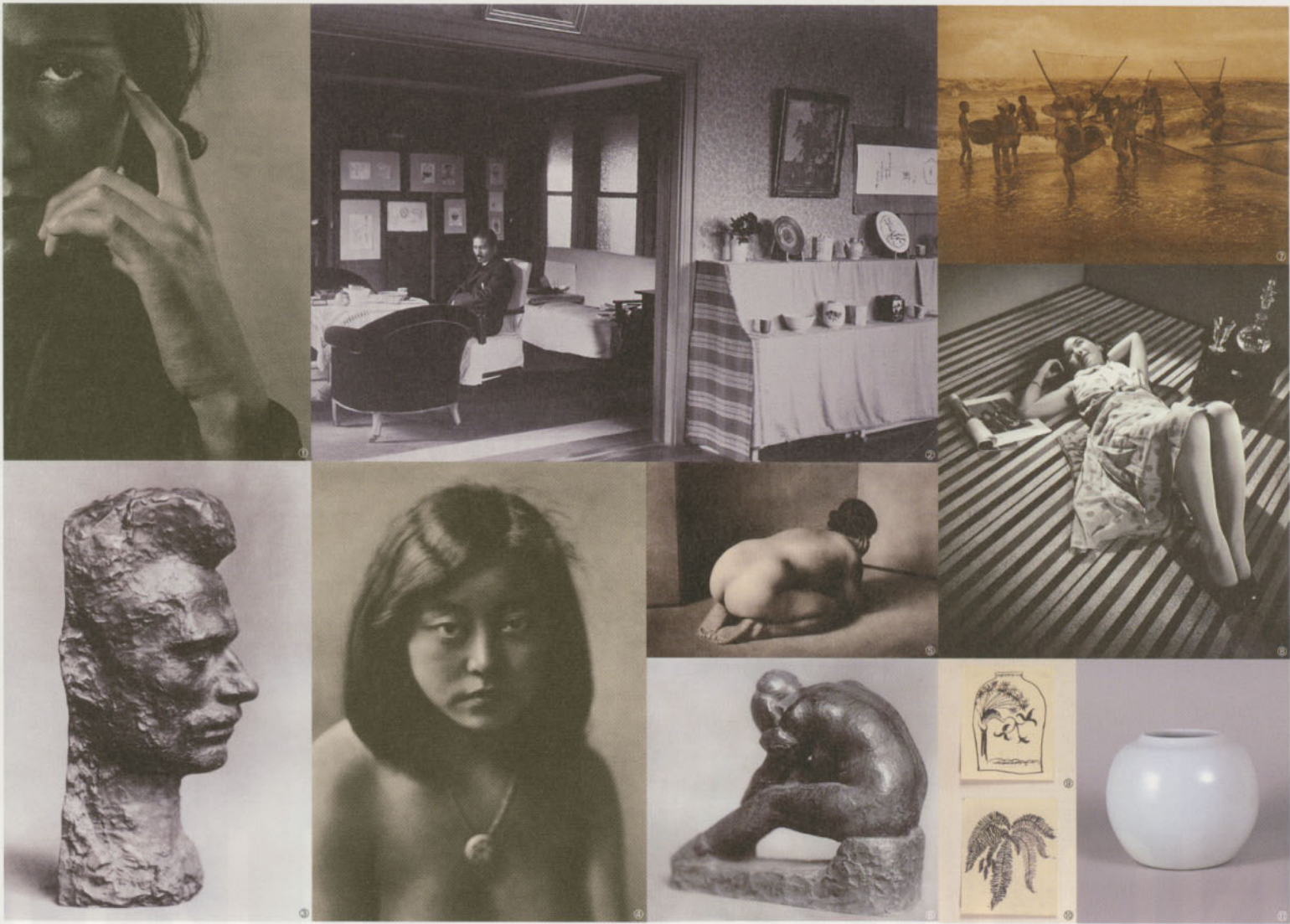
主催：京都国立近代美術館、京都新聞社

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]



NOJIMA YASUZO

Modern Japan through Nojima's Lens



NOJIMA YASUZO: Modern Japan through Nojima's Lens

野島康三(熙正1889-1964)は、大正期の絵画主義写真から昭和初期の新興写真の時代にかけて活躍した、わが国の近代写真の誕生と展開において最も重要な写真家の一人です。絵画主義の影響を色濃く残す「芸術写真」の隆盛期に写真を始めた野島は、当時主流であったピグメント印画技法を用いて卓抜な技術と繊細な感覚に裏付けられた濃密で厚重な写真作品を制作しました。その後ドイツ新興写真に触発された野島は、1930年代に大胆なトリミングを駆使したゼラチンシルバー・プリントへとその作風を大きく変化させ、写真独自の表現を追求していきます。特に写真家の中山岩太(1895-1949)と木村伊兵衛(1901-1974)とともに創刊した写真雑誌『光画』(1932-33)は、出版資金の大部分を野島が負担し、海外の主要な写真論を紹介するとともに若い世代の写真家たちに発表の場を提供し、その後の新興写真の展開において極めて重要な役割を果たしました。

その一方で野島は、私財を投じて東京神田神保町に開設した画廊「兜屋畫堂」(1919-20)や自邸のサロンで梅原龍三郎や岸田劉生など『白樺』派を中心とする気鋭の美術家たちの展覧会を開き、その活動を経済的・精神的に支援しました。同時代の美術の擁護者として野島は、画廊経営だけでなく、美術雑誌や作品集に掲載するための美術作品の撮影の仕事にも携わっています。今回の展覧会では、野島の代表的な写真作品とともに、夭折した彫刻家・中原悌二郎(1888-1921)の遺作集(『中原悌二郎作品集』、1921)と、陶芸家・富本憲吉(1886-1963)が1920年代に精力的にその制作に取り組んだ図案集(『富本憲吉模様集』、1923-27)における野島の仕事に着目し、その業績をとらえ直すことを試みます。

生誕120年を記念して開催される本展では、野島康三遺作保存会の寄贈による当館所蔵の野島作品を中心に、中原と富本の作品集制作に関連する作品・資料を加えた約200点により、野島の作品世界と美術擁護者としての彼の活動を紹介します。野島康三という一人の写真家の眼差しの変遷を追うことは、1920年代から30年代の日本人の「近代の視覚」の生成過程を検証することでもあります。

表:(女)1933年 裏:①(細川ちか子氏)1932年 ②(富本展覧会会場の図)1924年 ③中原悌二郎(若きカフカス人)1919年/『中原悌二郎作品集』(1921年・日本美術院発行)より ④(少女)1931年 ⑤題名不詳 1931年 ⑥中原悌二郎(聴える女)1919年/『中原悌二郎作品集』(1921年・日本美術院発行)より ⑦(にこれる海)1910年 ⑧(女)1933年 ⑨・⑩『富本憲吉模様集』(1923-27年・私家版)より ⑪富本憲吉(白磁壺)1933年 ※⑪以外は野島康三による撮影、①②④⑤⑦⑧⑩は当館蔵、③⑥は渋谷区立松涛美術館蔵

【関連イベント】
 講演会1 『富本憲吉模様集』について 講演会2 『野島康三と『光画』』
 日時=8月8日(土) 午後2時~3時30分 日時=8月22日(土) 午後2時~3時30分
 講師=土田眞紀(美術史家) 講師=金子隆一(東京都写真美術館専門調査員)

京都造形芸術大学 一般公開講座 募集講座/芸術と文化のワークショップ
ブロムオイルプリント ービクトリアリズム(絵画主義写真)体験講座ー
 日時=2009年8月21日(金)~8月23日(日)全3回
 会場=京都国立近代美術館、京都造形芸術大学 受講料=10,000円(全3回分 印画紙・薬品代含む)
 定員=先着30名 主催=京都造形芸術大学、京都国立近代美術館
 お問い合わせ・お申込先=京都造形芸術大学 瓜生山エクスティンションセンター 電話=075-791-9124 ホームページ=<http://www.kyoto-art.ac.jp/general/>

作品解説 日時=8月6日(木) 午後2時~3時 講師=林 直(当館客員研究員)

いずれも京都国立近代美術館1階講演室にて、聴講無料、先着100名(午前11時より受付にて整理券を配布します)

【観覧料】
 一般850(700/600)円、大学生450(350/250)円
 ※()内は前売り/20名以上の団体料金の順。 ※本料金でコレクション展・無声時代ソビエト映画がスター展(いずれも4階展示室)もご覧いただけます。 ※高校生および18歳未満、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください) ※前売券の主な取り扱い:チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:688-753)、ローソンチケット(Lコード:53150)、セブンイレブンほか主要プレイガイドなど

〒606-8344 京都府左京区岡崎円勝寺町 電話:075-761-4111

- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)からバス5番着行「京都府立美術館前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)からバス100番(急行)銀閣寺行「京都府立美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅からバス5番着行「京都府立美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅からバス46番平安神宮行「京都府立美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山二条」または「京都府立美術館前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約5分

※お車でのお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。